東京ジャーミイ金曜日のホタバ

# イスラームの基本的な概念

2011 年 4 月 29 日

**親愛なるムスリムの皆様**。イスラームの教えを定義する多くの基盤に基づくいくつかの概念があります。全ての文献において、まず、イスラームがタウヒードの教えであることが明らかにされています。タウヒードの信条を示す多くのクルアーンの言葉のうち一つは、「あなたがたの神は唯一の神（アッラー）である。かれの外に神はなく、慈悲あまねく慈愛深き方である」（雌牛章第１６３節）と述べられています。ムスリムとなるために唱えなければいけない二つの文章からなる文言の名称も「カリマ・イ・タウヒード」すなわちアッラーを唯一であるとする言葉です。クルアーンは人々を、タウヒードの信仰のもとに一体化し、共にあることへと招きます。

私たちの教えは慈悲の教えであり、慈しみと憐れみ深さの教えです。クルアーンが教えているところによるなら、預言者ムハンマドは「世界への慈悲」として遣わされました。そのために私たちの文明ではあらゆるものの権利が保護されてきました。慈悲の預言者は、乾きに苦しむ犬に水を飲ませたという理由で天国を獲得した人のことを、大きな幸福と共にそのウンマへ模範として示されました。このため歴史を通してムスリムたちは通りにいる動物たちや傷ついた渡り鳥への奉仕のため、貧しい女性が嫁入り道具を用意するためといった目的ですら、ワクフ（宗教寄進）を設立してきました。モスクの尖塔を造る際にも鳥たちのことが考慮されていました。

**親愛なるムスリムの皆様**。私たちの教えは愛情と兄弟愛・友情の教えです。クルアーンにおいても、預言者のハディースにおいても、信者たちは兄弟であること、互いに兄弟として振舞い、共に平和的に生きるべきであることが語られています。

私たちの教えの最も重要な特徴のひとつが、多様性や多文化性にひらかれた世界観を備える原則を持っていること、豊かな寛容の文化を形成していることです。事実歴史上ムスリムたちは異なる教えや民俗に属する人々に対し公正に振舞うという原則を何世紀も実践してきました。預言者ムハンマドは「人々よ！あなた方は皆、アーデムの子供たちである。アーデムは土から創造されたのだ」と語られ、人々が共通する出自を持つこと、兄弟であることが本来であり、異なるという見方が誤りであることを告げられています。私たちの聖なる書物は、私たち皆が同じ男女の子孫であること、争うことによってではなく異なる個性を発展させることによって互いと知り合い、認識しあう目的で異なる民族に分けられているということを伝えています。

**親愛なるムスリムの皆様**。イスラームの諸民族は何世紀にもわたり、世界各地で支配下においた地域で、ムスリムたち、そして異なる宗教に属する人々を同じ場所で平和裏に生活させてきました。多くの教え、多くの民族、多くの文化を持っているというあり方は、私たちの文明の何世紀にもわたって守られてきた最も重要で人間らしい特質なのです。現在においてすら、訪問したイスラーム各国で、この包括的な、懐の広い文明の証人を何百人も目にすることができるのです。

宗教的、民族的特質として何世紀も実践してきた、前述のイスラームの普遍的な兄弟愛や平和といった原則を注意深く守ること、それらに害を及ぼすことを避けることは、私たち皆の大切な務めなのです。